

【日時】 令和3年7月19日～28日

午後7時30分～

【会場】 各小学校ランチルーム

宝達小学校下はアスラス研修室

小学校統合 保護者説明会

【次第】	【資料目次】
・ 開会	(P1) 1 町の学校のあり方
・ 町長挨拶	(P2) 表1 学校・地区別の小学生児童数
・ 統合に関する説明	図1 押水地区の出生数の推移
・ 質疑	図2 志雄地区の出生数の推移
・ 教育長挨拶	表2 性別人数の偏りが大きな学級と統合による緩和
・ 閉会	(P3) 2 新しい教育と学校
	3 統合の形態・準備とスケジュール案
	(P4) 図3 統合準備委員会の組織概略図
	図4 統合準備スケジュール案

1 町の学校のあり方

1-1 児童の学びの保障をする

学びの保障を実現していくには、学び合うための集団を確保して多様な考えを認める協働学習を行うこと、これからの時代に求められる「指導の個別化」「学習の個性化」を進めること、そして、これらの機会均等を図ることが重要です。

また、子どもたちの成長には、小さな集団から徐々に大きな集団の中で学んでいくこと、具体的には、保育所から小学校へ進学したときに一回り大きな集団となることが望ましいと考えます。

1-2 2校の児童・教職員が切磋琢磨し、教育の質を高め合う

子どもの成長には、経験によって技能や体感等の「生きた知識（経験知）」を体得することが欠かせません。

これは、失敗や苦労を重ねつつそれを乗り越え、挑戦を繰り返すことで得られるものです。試行錯誤を通じて判断力や選択能力、主体性が培われると共に、「頑張ればできる」と自らの成長を実感することができます。

そして、これを促すには、子どもたちが集団において、また集団同士が切磋琢磨することが大切であり、本町においては、現在よりも大きな集団となる複数の学校の存在が望ましいと考えます。

1-3 個性化・個別化の充実と対面指導・オンラインの良さを生かす

これからの教育には、誰一人取り残すこと無く、全ての子どもたちに対する指導の個別化、学習の個性化をICT活用により充実していく「令和の日本型学校教育」の推進が期待されています。

また、対面（直接）の学びとオンラインの活用を適切に組み合わせた「協働の学び」の充実を図っていくことで、今まで以上に豊かな学びを実現することができると思います。

1-4 新しい校下の皆さんに信頼され、愛される学校づくり

学校運営の充実には、校下の皆さんの支援が不可欠です。学校のことを良く知り、親しんで頂けるよう、情報を積極的に公開すると共に保護者や地域の皆さんの意見を取り入れ、運営改善に継続的に取り組みます。

同時に、学校は地域の象徴であることが求められます。統合を機に、地域の融和と発展に寄与する存在として、子供たちのエネルギーが地域を元気にする、活力ある学校づくりを目指します。

表1 学校・地区別の小学生児童数

(令和3年4月現在)

出生年度	押水第一小			宝達小			相見小			押水地区 計			樋川小			志雄小			志雄地区 計			町合計			令和7年度 の学年
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
H 25 年度	7	6	13	7	2	9	4	12	16	18	20	38	8	10	18	4	13	17	12	23	35	30	43	73	6年生
H 26 年度	2	4	6	4	4	8	9	12	21	15	20	35	10	7	17	19	7	26	29	14	43	44	34	78	5年生
H 27 年度	7	3	10	3	1	4	9	10	19	19	14	33	6	4	10	6	8	14	12	12	24	31	26	57	4年生
H 28 年度	6	4	10	8	1	9	9	5	14	23	10	33	6	6	12	9	9	18	15	15	30	38	25	63	3年生
H 29 年度	4	5	9	2	6	8	8	13	21	14	24	38	4	8	12	9	10	19	13	18	31	27	42	69	2年生
H 30 年度	10	7	16	3	0	3	11	7	18	24	13	37	9	7	16	8	7	15	17	14	31	41	27	68	1年生
R 元 年度	1	3	4	2	2	4	8	11	19	11	16	27	2	5	7	4	6	10	6	11	17	17	27	44	年長
R 2 年度	6	1	7	4	3	7	11	3	14	21	7	28	4	2	6	6	6	12	10	8	18	31	15	46	年中

※ 囲いは令和7年度時点の複式学級。 ※ 囲いは年度によって複式学級になる学年。 ※ 表両端に太線を付した年度は令和7年度に小学生の学年。

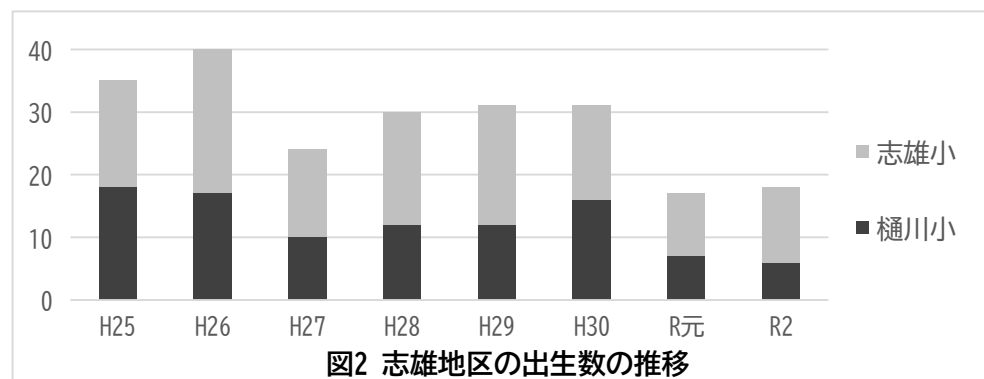
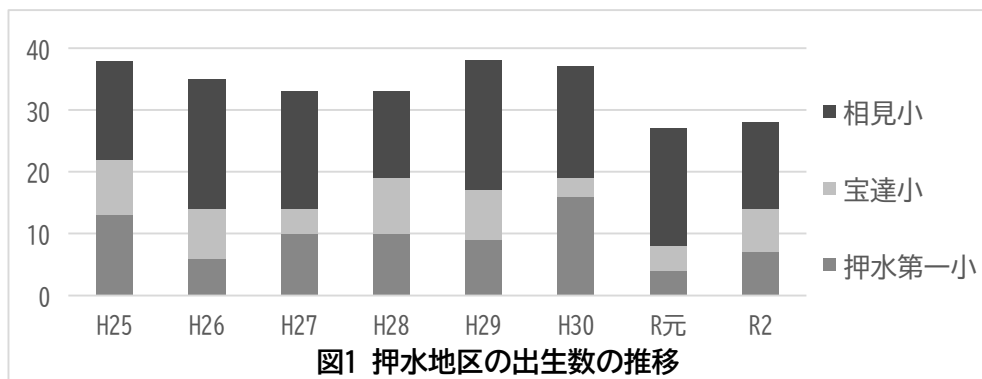


表2 性別人数の偏りが大きな学級と統合による緩和

出生年度	小学校	男	女	均等比※	統合男	統合女	均等比
1	H30 宝達小	3	0	0.00	24	13	0.54
2	H28 宝達小	8	1	0.13	23	10	0.43
3	R 2 押水第一小	6	1	0.17	21	7	0.33
4	R 2 相見小	11	3	0.27	21	7	0.33
5	H25 志雄小	4	13	0.31	12	23	0.52

※ 均等比は男女の数の大きい方で小さい方を割った数(男8：女1であれば1/8≒0.13)
男女同数ならば均等比が1

(表1、図1、図2)

令和7年度の統合時以降に小学生である学年の人数に関する図表です。統合をした場合でも、志雄地区のH26年度生まれを除き、学級人数は40人未満であり、令和元年度生まれ以降は更に減少します。

(表2)

学級人数の減少に伴い、男女比に極端に大きな偏りのある学級があり、学校活動に支障が出ることが考えられます。

この状況を統廃合により緩和することができます。

2 新しい教育と学校

2-1 確かな学力を育み、自ら課題を見つけ、主体的に解決できる力の育成

これからの時代に求められる資質・能力の3つの柱

「知識及び技能」

「思考力、判断力、表現力等」

「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育成することが必要です。

そのために、ICT環境を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実していくことが重要です。その際、児童生徒の発達段階を考慮し、各教科等の特質に合わせた「主体的・対話的で深い学び」のある授業を進めることが重要となります。

2-2 豊かな心の育成と健康でたくましい体力の保持増進

教育には、基本的な生活習慣の確立や規範意識の高揚、自他の生命の尊重、自己肯定感、自己有用感を育んでいくことが求められます。

また、コミュニケーション能力を高め人間関係を築く力、社会性を身につけ主体的に社会へ参画する力とともに、健康や体力の保持増進に努め、何事にも前向きに挑戦し、失敗から逃げずに、チャレンジする精神、自らの力で乗り越えようとするたくましい力も求められます。

2-3 思いやり、支え合いを大切にする心の育成

学校教育は、児童同士、また教職員の関わりの中で行われており、その中で大切なのが思いやりや支え合いを元にした「誰ひとり取り残さない学校づくり」です。

ICTの活用・充実による学びの個別化・個性化が評価されていく時代ですが、そんな時だからこそ、今まで以上に「思いやり、支え合い」を大切にしてい

くべきことです。

3 統合の形態・準備とスケジュール案

3-1 統合の形態

押水地区 | 押水第一小 + 宝達小 + 相見小 ➡ 相見小校舎

志雄地区 | 樋川小 + 志雄小 ➡ 志雄小校舎

3-2 統合準備委員会について

統合のために課題の調査・検討を行うと共に所要の準備を行い、円滑な移行を図ることを目的とし、関係者による準備委員会を設置する。

●準備委員会は、統合学校区ごとに設置

- ・ 押水地区 | 押水第一小学校・宝達小学校・相見小学校
- ・ 志雄地区 | 樋川小学校・志雄小学校

●委員会の構成

- ・ 小学校PTA 会長・副会長・母親代表
- ・ 保育所保護者会 会長
- ・ 識見委員
- ・ 小学校校長・教頭 ほか

●協議事項

- ・ 総務部会 | 統合小学校の名称、校章、校旗、校歌、制服等に関すること
- ・ 通学部会 | 通学体制に関すること
- ・ PTA・式典部会 | PTAの組織運営に関すること ほか
- ・ 学校教育部会 | 教育課程や学校行事に関すること
- ・ 事務部会 | 学校運営・事務に関すること

準備委員会

- 小学校PTA 会長・副会長・母親代表
- 保育所 保護者会長
- 識見委員
- 小学校 校長・教頭ほか

総務部会 | 校名・校歌・制服等に関すること

通学部会 | 通学の方法・安全対策等に関すること

PTA・式典部会 | PTA組織と閉校記念事業に関すること

学校教育部会 | 教育課程や学校行事に関すること

事務部会 | 学校運営・事務に関すること

保護者の方に検討をお願いする事項

図3 統合準備委員会の組織概略図

	R3年度			R4年度			R5年度			R6年度			R7年度			
	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4月
校舎工事関係																開校
基本設計		■														
実施設計				■	■	■										
補助金申請等								■	■							
学校改修												■	■	■		
引っ越し															■	
準備委 総務部会																
校名の決定		■	■	■												
校歌制作						■	■	■	■							
歌唱練習											■	■	■			
校章・校旗の決定						■	■									
制服等の決定								■	■	■						
準備委 通学部会																
通学ルートと安全対策の検討		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
バスのルート・時刻等の検討		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
準備委 PTA・式典部会																
新校PTA組織編成		■	■	■												
閉校記念誌・行事等								■	■	■	■	■	■	■	■	

図4 統合準備スケジュール案